



令和4年5月10日

各報道機関 御中

宮崎大学企画総務部
総務広報課長

宮崎伝統野菜の次世代への継承

～未就学児を対象とした食育活動『佐土原ナスの苗植え会』開催について～

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より本学の教育・研究・社会貢献活動についてご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、地域資源創成学部食品科学研究室の活動の一環として、佐土原ナスを使った食育活動を社会福祉法人木花こども園で開催することになりましたのでお知らせいたします。

当該研究室では、日頃より地域固有の作物である宮崎伝統野菜の次世代への継承に関する教育研究に取り組んでいます。伝統野菜とは、地域の気候風土に適応した野菜として古くから栽培されてきた地域野菜のことで、宮崎県にも糸巻きダイコンや佐土原ナス等、宮崎固有の伝統野菜があります。しかしながら、近代農業の発展の影響を受け、不安定な形状、食べ方の情報不足、生産者の担い手不足、消費の低下等で、地域から消えていく伝統作物も少なくありません。地域の宝である宮崎伝統野菜を持続可能な形で次世代へと継承するためには、伝統野菜の認知度向上は不可欠です。

本研究では、宮崎の伝統野菜の認知度向上を目指し、宮崎伝統野菜の1つである佐土原ナスに着目して食育活動を行います。佐土原ナスは嗜好性だけではなく、文化的にも価値の高い野菜です。私たちは、子供達に、佐土原ナスを育て食べるという過程を通して「食材のありがたさ」「食べる喜び」を子ども達に楽しみながら知ってもらうとともに、伝統野菜に興味関心を持ってもらう機会とすることを目的として、当該研究室学生が、宮崎県の食資源である佐土原ナスを子供たちと一緒に定植・栽培します。

当日は、新型コロナウイルス感染予防を徹底した上で、園児、大学生が佐土原ナスの苗植えを行います。実際に園児たちの手で苗植えを行うことにより、新たな知識を身に付けるとともに、食のありがたさを知る機会になると考えています。雨天の場合は室内で苗植えのデモンストレーションや、楽しく佐土原ナスについて学ぶことが出来る時間を設けます。収穫時（8月を予定）には、佐土原ナスを使った工作活動や調理・実食などを行う予定です。佐土原ナスの定植・栽培・収穫・工作・調理・実食を通して得た経験が、生涯を通じて、食べる力を養う素地を醸成し、宮崎伝統野菜を知り次世代への継承を担う子供達を育成する一助となればと考えております。

つきましては、当日の収穫の様子を取材していただき、記事として取り上げていただけたら幸いに存じます。何かとご多忙中かとは存じますが、宜しくお願い致します。

敬 具

記

- 開催日時 令和4年5月13日(金) 10:00 ~ 10:45
- 場 所 社会福祉法人木花福祉会 木花こども園
〒889-2151 宮崎県宮崎市大字熊野字西ノ原6777番地3
- 主 催 宮崎大学地域資源創成学部 食品科学研究室
- 対 象 こども園児(年中児37名)
- 備 考 ※当日は、新型コロナウイルス感染予防のため、マスクをご着用下さい。
※発熱等の症状が見られる場合は、取材をご遠慮下さいますようお願い申し上げます。
※雨天の場合は、延期となる場合があります。

【会場：木花こども園】

〒889-2151

宮崎県宮崎市大字熊野字西ノ原6777番地3

※Google MAPで検索した場合、旧園舎の場所がスポットされますのでご注意ください。



① 問い合わせ先

宮崎第大学地域資源創成学部 (山崎有美)

E-mail: yamasakiy@cc.miyazaki-u.ac.jp

TEL : 0985-58-7468

不在時・当日連絡先 : 080-4272-8693(山崎)

② 発信元

宮崎大学企画総務部総務広報課

TEL : 0985-58-7114 FAX : 0985-58-2818